

# Light It Up Blue@「100年の樹」2020 開催に際して

自閉症や発達障がいと診断される方々は年々増加の傾向を辿っています。その数はこの20年で7倍以上に増え、3年前の調査によりますと全国の公立小学校では発達障がいにより「通級指導」を受けている児童生徒の数は9万人を超えていることがわかりました。

また、自閉症をはじめとする発達障がいは見た目からは分かりにくく、「本人の努力不足」や「親のしつけの問題」などと思われることもあり、周りの理解も重要不可欠です。

## Light It Up Blue(ライト・イット・アップ・ブルー)とは…

2007年の国連総会でカタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう日として各国で取り組みが行われ、その取り組みの一つとして、ニューヨークに本拠地のある世界最大の自閉症支援団体「Autism Speaks」が誰でも参加できる活動としてランドマークや名所旧跡を2010年に青色でライトアップをはじめたのが起源です。今では世界172カ国が「世界自閉症啓発デー」に合わせて、ランドマークや名所旧跡以外にも期間中様々な所が青くライトアップされています。

青色は自閉症のシンボルカラーで「癒し」や「希望」などを表しています。

現在ではライトアップだけではなく、啓発活動やコンサートなど「青いもの」を身に着け、ブルーで表現される様々なイベントが展開されています。

## 日本では…

「世界自閉症啓発デー」の4月2日から8日を「発達障害啓発週間」としています。「自閉症」だけでなく、「発達障がい」と合わせて理解してもらえるように、日本自閉症協会・厚生労働省をはじめ関係機関による「世界自閉症啓発デー日本実行委員会」が中心となり、東京タワーや通天閣などの有名なランドマークをブルーにライトアップしシンポジウムなどを行っています。

## 大分では…

2012年より別府タワーが4月2日にライトアップされています。大分市でも2017年よりライトアップが始まりました。自閉症をはじめとする発達障がいの理解者が増えることを願って、私たち「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会は、4月2日から8日迄の「世界自閉症啓発デー」並びに「発達障害啓発週間」の期間に「大分いこいの道広場」や「J:COM ホルトホール大分」にて『Light It Up Blue@「100年の樹」』と題した啓発イベントを毎年開催しています。

## そして、2020年は…

4月2日から8日迄「大分いこいの道広場」の「100年の樹」を青く染め、「J:COM ホルトホール大分」では、絵画や啓発パネルの展示、ステージ発表、講演会や物品販売など、様々なイベントを企画しています。

是非とも趣旨をご理解頂き、Light It Up Blue@「100年の樹」2020へのご参加と運営へのご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

Light It Up Blue@「100年の樹」2020は、ヒューレおおいた(J:COM ホルトホール大分1F)の4月特別展示と同時開催する予定にしております。どうぞ合わせてご来場の程、よろしくお願い致します。

<お問い合わせ先> 「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会  
電話 090-4350-1711(岩川)  
E-mail: 100nennoki@blue-oita.com  
HP: <http://blue-oita.com>



ホームページ QRコード